

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月16日(2024.7.16)

【公開番号】特開2022-165518(P2022-165518A)

【公開日】令和4年11月1日(2022.11.1)

【年通号数】公開公報(特許)2022-201

【出願番号】特願2021-70883(P2021-70883)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出を実行可能なりーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の様子を変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記変化演出の対象となる演出が特定可能な様子にて、示唆演出を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であつても前記変化演出を実行可能であり、

第1変化演出と、前記第1変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ実行割合が低い第2変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、

前記示唆演出および前記第2変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前記第2変化演出を示唆しない割合よりも、前記第2変化演出を示唆する割合のほうが高くなる

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出のいずれかを実行可能であり、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0010

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、

識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、 10

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記変化演出の対象となる演出が特定可能な態様にて、示唆演出を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であっても前記変化演出を実行可能であり、

第1変化演出と、前記第1変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ実行割合が低い第2変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、 20

前記示唆演出および前記第2変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前記第2変化演出を示唆しない割合よりも、前記第2変化演出を示唆する割合のほうが高くなる、

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出のいずれかを実行可能であり、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする。

他の遊技機は、識別情報（例えば、飾り図柄）の可変表示を実行し、遊技者にとって有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、識別情報がリーチ状態となった後に、有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出（例えば、スーパーリーチ）を実行可能なリーチ演出実行手段と、リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、有利状態に制御されることを示唆する変化演出（例えば、タイトル表示や字幕表示、飾り図柄、カットイン表示の表示色を通常色（白）から青色や緑色、赤色、金色に変化させるチャンスアップ演出、バトル演出において敗北状態から勝利状態に変化させるチャンスアップ演出（復活）など）を実行可能な変化演出実行手段と、変化演出が実行されることを、変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出（例えば、ストック演出）を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、リーチ演出における演出の一部として、当該リーチ演出の進行に応じて情報が異なる情報表示（例えば、字幕表示）を含み、リーチ演出実行手段は、変化演出が実行されているときにも、リーチ演出の進行を維持し（例えば、チャンスアップ演出の実行中もスーパーリーチに係る演出制御は継続して実行されている）、変化演出実行手段は、対象となる演出を変化させることに関連して、報知音を出力し、示唆演出が実行されない場合であっても変化演出を実行可能であり（例えば、ストック演出を経ない非鍵チャンスアップ演出を実行可能である）、実行されているリーチ演出に係る少なくとも一部の演出画像を視認不能となるように報知画像を表示し、該報知画像を消去したときに、変化演出の対象となる演出の態様を変化させる態様にて変化演出を実行し（例えば、図8-25（13）に示すように、チャンスアップ演出に係る報知画像として、エフェクト画像とともにキャラクターの動きを示す）、 40

ラクタと「字幕ランクアップ」等の文字表示とが前哨演出に係る演出画像を覆う態様にて表示され、図 8 - 25(15)に示すように、それらが消去されるときに字幕表示の態様が変化する)、情報表示の態様を変化演出の対象として変化させる場合に、当該対象となる情報表示が実行されるよりも前に報知画像の表示を開始し、当該報知画像が消去されるまでの間に、情報表示の態様とは異なる演出の態様を対象として変化演出を実行しない(例えば、図 8 - 25や図 8 - 26、図 8 - 2、図 8 - 3に示すように、一のチャンスアップ演出が実行されているときには他のチャンスアップ演出は実行されない)。

報知画像を表示することによって変化演出が実行されることを認識しやすくする一方で、その際にリーチ演出の進行を止めるようにしてしまうと、リーチ演出に係る映像のデータ容量が増えてしまうため、報知画像を表示している間も映像を進行させているが、その結果、報知画像によって映像を視認困難としている間にも何か変化演出が行われないか遊技者が気にしてしまい、興趣が低下する虞がある。そこで、報知画像の表示中は変化演出を実行しないようにすることで、演出効果を妨げず、興趣を低下させないようにしている。

10

20

30

40

50